

れに代るべきバスケット、球を打ちつける的な事を用意すべきである、又廣告の紙や読み古しの雑誌などを適當な大きさ(長方形)に剪つて置けば盛んに紙飛行機をこぼして遊ぶものである。

一、跳ぶ事

繩跳び

跳ぶ設備

一、登る事

斜面を登るやう山坡をつくる

階段

木登り——自然木、直立の丸太

以上の設備をして置けば幼兒は獨りでに練習して上達するのである。要は設備を其利用にある、之を利用させるについても指導する先生の考へ方に依つて異なるのである、即ち先生其人の性格に依る事は勿論であるが、年齢によつて異なる事は争はれない事實である。若い人は要心深く年の多い人は危ながらずの大膽にさせるやうに心掛けて丁度當を得る事になると思ふのである。

新體制下の幼稚園の題目のもとに情操涵養について充分なる意見を發表せよとの御下命を頂きましたので、止むなく、我園に於て實施致して居ります點を聊か述べさせて頂きましてお教へを願ひ度いと存じます。

近來新體制下の幼稚園とか、新體制による保育問題とか、從來の保育過程の反省とか、保育の本質を如何に新體制の理念の下に活かすべきかとか、保育者としての臣道の實踐方法とか、いろいろの方面に於て研究されてゐます事は時局下の今日最も緊急なる問題であらうと存じます。さて茲に一般人民は物資の不足だ、代用品の研究だとか八ヶ間敷申して居ります、中には家庭の職業によつて父母の職業の變化なきから幼兒に及ぼす影響は思ひがけない深い所、もつと機微の點で性情に迄も及ぼして居る様に思はれます事は私達の最も憂ふる所であります。故にこの重大時局を考へ今日の事態に即して幼稚園が其責務を充分認識するのみならず、現實な任務を情操涵養の上に、實踐實施して皇國の礎石を作らなければならぬと思ひます。

或る學者の説に曰く、獨逸では今日鐵石の意志を以て巨大な戦争を遂行してゐますが、文學や、音樂は、感じの細かいものが讀まれたり、演じられたりしてゐます。戰地でも纖細な感じのものを讀まれ傳令將校の從軍日誌なさも詩人的な敏感さで書かれてゐる。感傷性や怯懦な感じは出でてゐる

幼稚園の情操教育

大阪府海べの幼稚園 高濱キミノ

ません。繊細な感じを以つたからといって勇気が挫けるものではありません。この二つは兩立するものです。剛健はよろしいがその粗暴になつてはいけません。粗暴な神經はあるショックによつて一瞬に病的になる惧れがあります」

「書かれてあります。

その意味によつても幼児から善的感覺の訓練をしておく必要があります。殊に戦争中で、人心がさかく殺伐になりやすい今日却つて情操教育が特に大切なのではないかと思ひます。保育者は其限度を考へて實行力が弱められたり、

病的な頹廢的なものになつたりせぬ様其基礎的鍊成をなす様心掛けねばなりません。而して温かい心づかひを以て人生を知り、道徳的感覺を以て、人生に興味を見出したり且つ建設的な意慾なきも生れて來るのではないかと思ひます。日本の武士道でも物のはれを知つてゐるものが立派な武士道されてゐます様です。

次に從來實踐實施して居ります情操涵養の二三を御参考迄に掲げて見ませう。

(一) 自然に親しむ

當園の環境は幸ひ自然に恵まれ四季共に幼児の自由な遊び場となつてゐる。お天氣のよい日、日光の子さもなつて自然の下に、四季を識らしめ四季を樂しましめてゐる。春、暖かい日光、軟かい空氣、かぐはしい花の香、愛

らしい小鳥の歌を聞きながら草の如く、花の如く、蝶の如く、伸び、又美しく開き、自由に舞ひ遊ぶ、そしてあかるい心、あたゝかい心を養ふ。健康の爲ばかりではない。夏、爽やかな心地のよい時、林縁に、細道に、小川の岸に、團樂して話し合ひ、花を摘み、裾をかゞげて小川の目に高を追ひ、磯をつたふて貝を拾ふ。偶々釣らずして鰯、カレイ、ハゼ等を手づかみにし實物を以てにこゝに問答をはじめめる。こうして自然そのものの眞摯な感化を得させる事も出来る。

秋、子供の秋、歡喜の秋、澄んだ空氣、高く遠い秋の空、木の實、草の實、稻の豐熟、落葉、自然の秋は子供等の爲めの絶好の樂園である。大空を仰ぎ木の實を拾ひ、美しき木の葉を集め、蟲を追ふて喜び、稻の穂の實るを觀て感謝し、こうして、この時代の收集本能や狩獵生活時代の情趣を味ふてゐる。

冬、霜を踏む朝、冰の張つた池の面、つらゝを尋ねる姿、松風に耳を傾ける子供等は詩人が、俳人が、自然の偉大さの中に何かを求めるようとする。冷たい風に觸れながら手を引いて丘に上り、横にはつた大木を安らぎて攀ぢ、圓を畫いて相撲をさり、枯枝を劍に鐵砲にして戦争ごつこなさ冬の遊びにふさはしい遊びを求めてする、寒さ冷たさも感ぜぬ様に力一つばいの鍛錬を始める。そして自然に剛健

の氣を養ふてゐる。

以上の如く子供をして充分に四季を識らしめ、樂しましめ、活きた自然を活きた接觸をする事によつて子供に最も適當な玩具として、自然玩具程適當なものはないと思ふ。こうして神よりうくる自然の尊さ、有難さをしみじみ感ぜさせる。

(二) 神社參拜
興亞奉公日、十五日、お祭り、誕生會、等に參拜し崇神の念と感謝の念を養ふ。

(三) 誕生會
健康にて誕生日を迎へる事の出来る歡び、皇恩、親の恩、友達に對する美しき純情、先生が幼兒に對する愛情や有難さを自然に感ぜしめる。

(四) よい音樂、美しい繪畫の鑑賞
レコード、ラヂオ、なきにより名曲を觀賞する。美しい

繪畫は室内に或は園地の折觀賞せしめて美しい情を養ふ。

(五) 慰問文、慰問品の製作、遺家族慰問
戰地にある家族や、親善の人、或は近所、知己の人々に送る慰問文慰問品を作り又は先生一所に慰問に出かける、

進んで一般兵士の爲めに作つて送る。製作中は之をもろふた兵隊さんざんに喜ぶだらうか、嬉しいだらうなあと思ひくの感じを語る中には兵隊さん有難うの歌など誰云

ふことなく口ずさみ、室内はたちまち大聲揃へて感謝の歌を唱へてゐる。

(六) 動物飼育

山羊、豚、犬、鶏、鳩等々お友達になつて遊ぶ朝はさの幼児もきまつて食物をやる事を忘れない。色々の物語をしながら、動物も親しいお友達の近よる事を喜び暫し何とも書き盡せぬ雰圍氣にひたる。動物愛護も忙しく接近する事によつて養はれる。

(七) 園藝

毎日園丁が花畠に、野菜畠に勵らいてゐる。種を蒔く、灌水する。肥料をやる。美しい花、新鮮な野菜などの發芽、發育する様を觀察する。自分達も何か作り度いと云ふ氣分になる。二十日大根、菊菜、朝顔其のほか容易に出來るものを見て喜ぶ。出來上つた作物は常食に時としてお母さんのお土産に持ち歸らしめる。自分達の畠々を見て喜ぶ。一粒の種も大切にせねばならぬ事を知る。上から踏んではない可愛想だ、枯れてしまふ、と云つて自然に愛する様になる。共同作業をなす事によつて同情同感を共に味ふのである。

(八) 畫食

畫食については先年記載致しましたから略しますが先生やお手傳の人が温かい心を込めて用意をして下さる事を、

市立静岡幼稚園 金原伸子

幼児ながら感謝してゐる。先生おかげおいしいな、又明日もこんなの作つて頂戴な、なぞ、お母様に甘へる様に又の日の約束をする事もある。幼稚園の御飯はおいしいわ、先生の作つたものは何でもおいしいと譽められる。これでこそ知らず／＼の中に偏食の矯正も出来るのである。

(九) お掃除

自然物の多い庭は年中落葉がある。毎朝小さい園丁に先生も交じつてお掃除をする。廣い庭は掃く所もなかなか多い。せつせと大人も及ばぬ程の力にて片付ける。折には美しい落葉を見て簪を投げ出す事もある。拾ひ集めた落葉、枯れ枝なきは物資節約の折柄一定の場所に集めて燃料にする事を忘れない。

以上はほんの例に過ぎないのであります。保姆は絶へず頭を働かせ、今日の現實に對する要求を切迫さに驅られ其大任に對し其責務を實行實施して行かねばならぬ。すべて何事をなすにも大御心に照し夫々の立場に於て一舉一動充分なる注意を拂ひ必ず御期待に添ひ奉る様心掛けねばならないと思ひます。

悠久二千六百年曠古未曾有の聖典に列するの光榮に浴し、胸に迫るもの一人多き中に、わけても強く心を打ちて止まぬものは幼児たちのここである。日々にその使命の尊きことを感じつゝ、幼児保育にたゞさはるわが身ながらも、今日ほぞ國家の大切なる一粒を預けられてゐるのださいふ觀を深くいたしたことはかつてない。
さうかして幼児たちを立派なる皇國民となし、陛下の御ため御國の御ためにお立てせしなければこひたすら心に誓ふのである。

尙又愈々十六年度から實施されるところの國民學校の新なる立場によつて、我が國教育が殆ど根本から改められることになり、幼稚園も亦その改革に伴つて行かなければならず、遠からず幼稚園令の改正も實現されやうとしてゐる時、其の根本となるべき教育審議會の答申中の幼稚園に關する要綱中には、躰を重視し尙家庭との聯絡の必要さを明記されてゐる。

尙又我が國の制度や國民生活上新體制の實施につきめてゐる今日として、幼児保育の上にも當然反省と計画が行はれて、保育上の新體制が樹立されなければならない。
元來幼稚園は躰の場所である。心身全體の活動から、健

當園に於ける幼児の躰について